販売しているが、そのホーム 締役で、現在インターネットで だという。永瀬さんは日本コン ると聞く。昔、通信教育の宣伝 いう話は聞くが、どうも断片的 かれていない。、大変な人、だと ページを見ても自身のことが書 ダクター販売株式会社の代表取 れで、作ったのが永瀬憲治さん で目にしたことがある尺八がこ 者たちも邦楽の普及に使ってい というプラスチック と評判だ。プロの奏 製の尺八が良く鳴る

う人なのか会いたくて訪ねた。 半で約3万本、多い月で約3千 筆した教則本などと共に販売。 年に日本通信教育連盟(現・ユー 30万円だった竹製尺八の外径で にしか伝わってこない。どうい 本、平均すると月2千本売れた 通信教育が始まって最初の1年 奏法講座の教材として、彼が執 ターを設立して始めた現代尺八 キャン)が日本音楽教育セン 設計して作ったもの。1976 金型を作り、内径を永瀬さんが 「悠」は今から約30年前、当時



れた自宅の作業場にて。実は、 コンピュータ なお酒の一升瓶が足元に。

という。現在、製管師が1本1 手尺八奏者がアルバイトでやっ 奏者でお世話になった人も結構 ていた。現在第一線で活躍する 本微調整しているが、当時は若

00円に設定する。現在、アメ 初心者が吹きやすくてクセがな きっかけだ。安くて良いもの、 140本売れているという。 海外からの注文も多く、毎月約 リカとオーストラリアを中心に どもたちが買えるようにと84 いと考えたからだ。価格は、子 いものを供給しなくてはいけな 入れられるようになったのが 導要領が変わり、和楽器が取り たのは6年前。中学校の学習指 「(音楽を楽しむということ インターネット販売を始め

> なく、声明や詩吟などのメロ 唄えるものだ。 操作ひとつでメロディが流れて を解放したいと思ってきまし も、歌詞にタッチしたりボタン 音楽の知識や楽器経験がなくて ディ・コンダクターも開発した。 た」ということで、尺八だけで

さんのなかに熱い想いがあるこ 思ったからです」。現在も、解 界から離れていた。「一所懸命 を始めるまでの約20年間は邦楽 とを感じさせた。 ら行っているという姿は、永瀬 いながらも、「悠」の微調整を自 放、されたとはいえない、と言 してきましたが、ダメだなと 実は、インターネット販売

して邦楽との出会い、関わりを 「悠」を作るに至った経緯、そ

といっさん

## 次回紹介する。

えられ方が不自然なので、それ ど、邦楽の場合、あまりにも与 な音楽をすることが原点だけれ は) 自分の感性を生かして好き

## 水瀬憲治さん (後編)

思い描いた将来は電気関係の研 れる。当時、ステレオが出始め 生になると近所の人からも頼ま 究家か技術者で、66年東京電機 たころで音に凝る。そんな彼が でラジオを修理・改造し、中学 大学の電子工学科に進学する。 : 尺八部。 当時、山本邦山が 小学生のころから兄の影響 そこで勧誘されて入ったの 「悠」を作った永瀬さ んは1947年生ま ラスチック製尺八

> 海』を聴いたことを思い出して を作ったのが宮城道雄で、音楽 キゾチックな音を面白く感じ なり、ラジオから流れるそのエ ジャズフェスティバルで話題に 邦楽に興味を持つ。 山 (=船川利夫)の尺八で『春の の時間に古川太郎の筝と船川謙 る。そして、かつて通っていた 千葉県野田市第1中学校の校歌

川利夫作品第1集」だという。 本グラモフォン (株) 製作の「船 彼の人生を変えたのは、日 「船川先生は無理

はなく、響いている 船川宅へ遊びに行 り方が違いました」 んです。他の人と鳴 矢理吹いているので きだ。何度も遊びに く。大学1年生のと ようになり、ついに いくうちに、泊まる 熱い想いを胸に 大学3年

組曲 出 雲 尺八五重奏飾 蕪 村 句

22歳のとき会社を立ち上げて、初めて作

LP「船川利夫作品集」。下の写真がその解説書

国を廻る。 学生邦楽連盟を結成しようと全 に寄稿している。さらに全日本 伸らで、シンポジウムは小泉文 朗、青木静夫 (現・鈴慕)、宮下 のは、当時同じような心意気で ジウムを開く。演奏を依頼した 能性」と題した演奏会&シンポ 生三曲連盟の主催で「邦楽の可 邦楽はこのままだとダメだ、な も参加、田辺秀雄がプログラム 夫の司会で平井澄子、三木稔ら 活動する横山勝也、宮田耕八 い、大学3年生のときに関東学 んとかしないといけないと思 日本音楽に目覚めた彼は、

頼が次々くる。その会社で船川 計の知識が役に立ち、仕事の依 とで大学は6年生までいた。 のレコードも作った。というこ めの資金作りのために、22歳で 会社を立ち上げる。電子回路設 こうした運動を展開するた

になった。 初船川氏のところにきたもの だ。この通信教育の仕事は、最 きる。それが前編で紹介した尺 のことによって理想の内径がで な銘の尺八修理が舞い込み、そ で、彼にふられて担当すること 八の通信教育に付けられた「悠」 尺八も作った。すると様々

にし、そこでさまざまな人と出 会い、いろんなことを勉強し 生の後半から2、3年寝食を共

していた。 人生を一変させ、豊かなものに 船川利夫との出会いが彼の

